

# 第1回経営支援事例発表秋田県大会

## にかほ市商工会 金子経営指導員が最優秀賞

6月10日、第1回経営支援事例発表秋田県大会を、ホテルメトロポリタン秋田で開催しました。

この大会は、日頃、経営指導員が取り組んでいる支援事例を相互に発表し合うことで、支援ノウハウや経験の共有化を図り、職員の資質やモチベーションの向上、商工会による支援実績を広くアピールすることを目的としております。

県連が推進する「経営指導員10の目標」のひとつである「市場拡大計画策定」を共通テーマとして取り上げ、全県の経営指導員から提出された支援成果報告の中から書類選考を経て選ばれた10名が、それぞれの支援成果を発表しました。

審査の結果、最優秀賞には、にかほ市商工会の金子憲二経営指導員が選ばれました。

金子さんは「寿司店における市場拡大支援」に向け、持続化補助金の活用による新商品の開発や、バリアフリーに対応した店舗づくりに取り組み、支援事例と、これまで具体的な



講評を行う佐瀬審査員長

よる新商品の開発や、バリアフリーに対応した店舗づくりに取り組み、支援事例と、これまで具体的な



東北ブロック大会への抱負を語る金子経営指導員

でなかった経営方針を明確にさせることができたなどの成果を発表しました。

日常からの企業との対話ばかりでなく、前任者が記載した指導カルテから過去の支援状況を確認するなど、集めた情報を有効的に活用し、経営課題と施策をマッチングさせた点が大いに評価されました。

金子さんには、10月15日に宮城県南三陸町で開催される東北ブロック大会に秋田県代表として出場いただき、東北大会でも最優秀賞を目指して頑張ってください。

## 「絆」感謝運動を 全県21商工会 青年部で実施

全県21商工会青年部が、6月10日「商工会の日」に併せて、商工会青年部

全国統一事業「絆」感謝運動」を実施しました。（※地域の実情に合わせて、前後1週間以内で実施しました。）

この事業は、東日本大震災をはじめとする各地で発生した災害における復興支援活動等でも改めて確認された青年部と地域との「絆」と感謝の思いをさらに強化していくことを目的に、全国約1,700商工会青年部42,000名の青年部員による全国統一事業として実施しました。

秋田県としては、青年部相互の絆の再認識と地域への感謝の思いを込めて全県統一で各商工会地域の公共の場所や観光地、海岸、河川等のクリーンアップ活動を行いました。



## 商工会女性部主張発表

### 第13回秋田県大会

6月5日、「商工会女性部主張発表第13回秋田県大会」が全県から120名の女性部員が一堂に会し、秋田ビューホテルを会場に開催されました。

大会には全県8地区から代表1名が出場し、日頃の女性部活動を通じて得た自らの経験や成果、意見を10分間まとめた発表し合いました。



発表内容を聴き入る女性部員

さんがそれぞれ選ばれました。

最優秀賞の渡邊さんは発表の中で、大仙市商工会で取り組んでいる「夜漬けの素」今夜だけネ」の企画段階から製造、販売に至る経過を通して商品開発、販路拡大に女性部を挙げて取り組んできた結果、売り上げも着実に伸びてきている。秋田県は少子高齢化、限界集落、シャッター通りなど、暗い話題が多くなっているが、「笑う門には福来る」。これからも私たち自身が笑顔になることで、周りを少しでも明るくしていきたい。と述べました。

渡邊さんは、7月に宮城県松島町で

開催される「東北六県・北海道ブロック大会」に秋田県代表として出場します。



東北六県・北海道ブロック大会への抱負を語る渡邊部員